

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	福祉行財政と福祉計画		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	4年		学期及び曜時限	前期 木曜3限	教室名	1104教室
担 当 教 員	中谷 幸子	実務経験とその関連資格	生活保護法に基づく更生施設にて生活指導員、老人福祉法に基づくケアハウスにて施設長他に従事。介護支援専門員、精神保健福祉士、社会福祉士			
《授業科目における学習内容》						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの順に従って進める</li> <li>・福祉行政・福祉財政・福祉行政の組織・団体・専門職の役割、福祉計画の目的・意義・理論・方法及び福祉計画の実際への理解を深めつつ、国家試験受験にも資するものとする。</li> </ul>						
《成績評価の方法と基準》						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 70% 出席評価 20% 平常評価 10%</li> </ul>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新 社会福祉士養成講座 第5版 10 福祉行財政と福祉計画 中央法規出版</li> <li>・必要に応じてその都度関連する資料を配布</li> </ul>						
《授業外における学習方法》						
指定したテキストを事前に読んでおく						
《履修に当たっての留意点》						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習・復習を欠かさず、授業の進度に遅れないこと</li> <li>・教科書の各章を終わるごとに復習問題を配布するので、しっかりと取り組むこと</li> </ul>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉の概念・定義の移り変わり・法制度の展開が福祉計画登場の背景・考え方について説明できるようになる。	テキスト 配布資料	テキストの指定部分をしっかり読んでおく	
		各コマにおける授業予定	社会福祉の概念・定義の移り変わり・法制度の展開や福祉計画登場の背景・考え方についての講義①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉の概念・定義の移り変わり・法制度の展開が福祉計画登場の背景・考え方について説明できるようになる。	テキスト 配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの指定部分をしっかり読んでおく</li> <li>・復習問題に取り組む</li> </ul>	
		各コマにおける授業予定	社会福祉の概念・定義の移り変わり・法制度の展開や福祉計画登場の背景・考え方についての講義②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	行政の骨格、社会福祉と法制度、分権化による国と地方自治体の関係、社会福祉基礎構造改革後の福祉行政の変化を説明できるようになる。	テキスト 配布資料	テキストの指定部分をしっかり読んでおく	
		各コマにおける授業予定	行政の骨格、社会福祉と法制度、分権化による国と地方自治体の関係、社会福祉基礎構造改革後の福祉行政の変化について①			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	行政の骨格、社会福祉と法制度、分権化による国と地方自治体の関係、社会福祉基礎構造改革後の福祉行政の変化を説明できるようになる。	テキスト 配布資料	テキストの指定部分をしっかり読んでおく	
		各コマにおける授業予定	行政の骨格、社会福祉と法制度、分権化による国と地方自治体の関係、社会福祉基礎構造改革後の福祉行政の変化について②			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	行政の骨格、社会福祉と法制度、分権化による国と地方自治体の関係、社会福祉基礎構造改革後の福祉行政の変化を説明できるようになる。	テキスト 配布資料	テキストの指定部分をしっかり読んでおく	
		各コマにおける授業予定	行政の骨格、社会福祉と法制度、分権化による国と地方自治体の関係、社会福祉基礎構造改革後の福祉行政の変化について③			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国や地方の財政だけでなく、民間社会福祉事業等多面的な角度から福祉財政の全体像を説明できるようになる。	テキスト 配布資料	テキストの指定部分をしっかりと読んでおく
		各コマにおける授業予定	国や地方の財政だけでなく、民間社会福祉事業等多面的な角度から福祉財政の全体像についての講義		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉行政の組織・団体と専門職の役割について説明できるようになる。	テキスト 配布資料	テキストの指定部分をしっかりと読んでおく
		各コマにおける授業予定	福祉行政の組織・団体と専門職の役割についての講義①		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉行政の組織・団体と専門職の役割について説明できるようになる。	テキスト 配布資料	・テキストの指定部分をしっかりと読んでおく ・復習問題に取り組む
		各コマにおける授業予定	福祉行政の組織・団体と専門職の役割についての講義②		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉士が福祉計画に関わる目的や意義を説明できるようになる。	テキスト	・テキストの指定部分をしっかりと読んでおく ・復習問題に取り組む
		各コマにおける授業予定	社会福祉士が福祉計画に関わる目的や意義についての講義		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉計画の基本的視点・過程と留意点、福祉計画におけるニーズ把握、評価、住民参加などについて説明できるようになる。	テキスト	テキストの指定部分をしっかりと読んでおく
		各コマにおける授業予定	福祉計画の基本的視点・過程と留意点、福祉計画におけるニーズ把握、評価、住民参加などについての講義①		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉計画の基本的視点・過程と留意点、福祉計画におけるニーズ把握、評価、住民参加などについて説明できるようになる。	テキスト	・テキストの指定部分をしっかりと読んでおく ・復習問題に取り組む
		各コマにおける授業予定	福祉計画の基本的視点・過程と留意点、福祉計画におけるニーズ把握、評価、住民参加などについての講義②		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉計画が法定化される迄の経緯・社会的背景及び各計画の策定体制・策定過程・内容などについて説明できるようになる。	テキスト 配布資料	テキストの指定部分をしっかりと読んでおく
		各コマにおける授業予定	老人福祉計画・介護保険事業計画、障害者計画・障害福祉計画、次世代育成支援行動計画、地域福祉計画を中心にこれらが法定化される迄の経緯・社会的背景、計画の内容などについての講義①		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉計画が法定化される迄の経緯・社会的背景及び各計画の策定体制・策定過程・内容などについて説明できるようになる。	テキスト 配布資料	テキストの指定部分をしっかりと読んでおく
		各コマにおける授業予定	老人福祉計画・介護保険事業計画、障害者計画・障害福祉計画、次世代育成支援行動計画、地域福祉計画を中心にこれらが法定化される迄の経緯・社会的背景、計画の内容などについての講義②		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉計画が法定化される迄の経緯・社会的背景及び各計画の策定体制・策定過程・内容などについて説明できるようになる。	テキスト 配布資料	テキストの指定部分をしっかりと読んでおく
		各コマにおける授業予定	老人福祉計画・介護保険事業計画、障害者計画・障害福祉計画、次世代育成支援行動計画、地域福祉計画を中心にこれらが法定化される迄の経緯・社会的背景、計画の内容などについての講義③		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉計画が法定化される迄の経緯・社会的背景及び各計画の策定体制・策定過程・内容について説明できるようになる。	テキスト 配布資料	・テキストの指定部分をしっかりと読んでおく ・復習問題に取り組む
		各コマにおける授業予定	老人福祉計画・介護保険事業計画、障害者計画・障害福祉計画、次世代育成支援行動計画、地域福祉計画を中心にこれらが法定化される迄の経緯・社会的背景、計画の内容などについての講義④		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	卒業研究	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	4年	学期及び曜時限	後期	教室名	PCルーム、1104教室
担 当 教 員	原田 理恵/木寺 由美	実務経験と その関連資格			

《授業科目における学習内容》

3年生までの学習を基礎として、ゼミナール計式によって高度な専門的研究をすすめます。的確な論拠に基づいた社会福祉に関わる粘り強い研究をグループですすめ、相互に討議を行い研究の質を高めます。最終的には、卒業研究発表会でのパワーポイントによる発表と、卒業研究論文集に収録する論文を成果物として作成します

《成績評価の方法と基準》

卒業研究の成果物(パワーポイント、論文等)をもとに、到達目標に沿って評価(70%)、出席状況評価(20%)、日常的な専門研究に対する取り組みを評価(10%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

各グループによって異なりますので、グループの研究テーマに沿って随時紹介します

《授業外における学習方法》

卒業研究では、受講生の研究力量が問われます。PCルームを有効に活用し、自ら研究を行い、研究力量を高めていく努力が特に要請されます

《履修に当たっての留意点》

グループ研究ですので、グループメンバー内で討議しながら研究の質を高める努力が必要です。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 演習形式	授業を通じての到達目標	分析、考察の検討をおこない、考察できるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	統計手法がわからなければ教員に聞いたり、調べたりしておく。
	各コマにおける授業予定	グループの研究の最終的な到達点、研究の限界を整理する。		
第2回 演習形式	授業を通じての到達目標	分析、考察の検討をおこない、考察できるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	統計手法がわからなければ教員に聞いたり、調べたりしておく。
	各コマにおける授業予定	グループの研究の最終的な到達点、研究の限界を整理する。		
第3回 演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成、パワーポイント作成を通じて、論文を可視化できるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	研究の内容は何度もグループ内で論議し、追加、修正を加えていくこと。
	各コマにおける授業予定	提出日を意識しながら各グループで研究を進める。内容についてはグループ内で深く議論する。		
第4回 演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成、パワーポイント作成を通じて、論文を可視化できるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	研究の内容は何度もグループ内で論議し、追加、修正を加えていくこと。
	各コマにおける授業予定	提出日を意識しながら各グループで研究を進める。内容についてはグループ内で深く議論する。		
第5回 演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成、パワーポイント作成を通じて、論文を可視化できるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	論文の形式を確認し、パソコンにあらかじめ設定しておくこと。
	各コマにおける授業予定	論文は形式に沿って作成する。表やグラフを使い、文体を統一しているかをチェックする。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成、パワーポイント作成を通じて、論文を可視化できるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	論文の形式を確認し、パソコンにあらかじめ設定しておくこと。
		各コマにおける授業予定	論文は形式に沿って作成する。表やグラフを使い、文体を統一しているかをチェックする。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成、パワーポイント作成を通じて、論文を可視化できるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	先行研究、引用文献を整理しておくこと。
		各コマにおける授業予定	前期に調べている先行研究を再度確認し、自分たちの研究の特徴、先行研究との違いを明らかにする。		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成、パワーポイント作成を通じて、論文を可視化できるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	先行研究、引用文献を整理しておくこと。
		各コマにおける授業予定	前期に調べている先行研究を再度確認し、自分たちの研究の特徴、先行研究との違いを明らかにする。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成、パワーポイント作成を通じて、論文を可視化できるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	パソコンスキルを高めておくこと。
		各コマにおける授業予定	パワーポイントが視覚的に伝わりやすいものになっているか、グラフや図、配色等も検討し、加筆、修正を加えていく。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文作成、パワーポイント作成を通じて、論文を可視化できるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	論文、パワーポイントの作成が遅れないように進めておくこと
		各コマにおける授業予定	研究で最も伝えたいことをグループ内で再確認し、論文、パワーポイントでそれが上手く表現できているかをチェックする。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	パワーポイント発表の練習を通じて、研究で伝えたいことをまとめるられるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	パワーポイントを完成させ、発表のイメージを作っておく。
		各コマにおける授業予定	各グループでパワーポイント発表の役割分担をし、発言内容を決めて練習する。		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	パワーポイント発表の練習を通じて、研究で伝えたいことをまとめるられるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	パワーポイントを完成させ、発表のイメージを作っておく。
		各コマにおける授業予定	各グループでパワーポイント発表の役割分担をし、発言内容を決めて練習する。		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	パワーポイント発表のリハーサルを通じて、研究で伝えたいことをまとめるられるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	パワーポイントを見やすいように修正しておく。
		各コマにおける授業予定	卒業研究発表会に向けて、発表の練習を行い、クラスメイトからの助言をもらう。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	パワーポイント発表のリハーサルを通じて、研究で伝えたいことをまとめるられるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	パワーポイントを見やすいように修正しておく。
		各コマにおける授業予定	卒業研究発表会に向けて、発表の練習を行い、クラスメイトからの助言をもらう。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文を仕上げ、発表用パワーポイントのたたきを完成させることができるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	提出に向けて論文、パワーポイントを仕上げしておく。
		各コマにおける授業予定	論文、パワーポイント共に、最後まで完成させる。		

## 2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	卒業研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	4年		学期及び曜時限	後期	教室名	PCルーム、1104教室
担 当 教 員	原田 理恵/木寺 由美	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
3年生までの学習を基礎として、ゼミナール計式によって高度な専門的研究をすすめます。的確な論拠に基づいた社会福祉に関わる粘り強い研究をグループですすめ、相互に討議を行い研究の質を高めます。最終的には、卒業研究発表会でのパワーポイントによる発表と、卒業研究論文集に収録する論文を成果物として作成します						
《成績評価の方法と基準》						
卒業研究の成果物(パワーポイント、論文等)をもとに、到達目標に沿って評価(70%)、出席状況評価(20%)、日常的な専門研究に対する取り組みを評価(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
各グループによって異なりますので、グループの研究テーマに沿って随時紹介します						
《授業外における学習方法》						
卒業研究では、受講生の研究力量が問われます。PCルームを有効に活用し、自ら研究を行い、研究力量を高めていく努力が特に要請されます						
《履修に当たっての留意点》						
グループ研究ですので、グループメンバー内で討議しながら研究の質を高める努力が必要です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文を仕上げ、発表用パワーポイントのたたきを完成させることができるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	提出に向けて論文、パワーポイントを仕上げておく。	
		各コマにおける授業予定	論文、パワーポイント共に、最後まで完成させる。			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	決められた発表時間でのプレゼンテーションができるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	パワーポイントを完成させ、発表のイメージを作っておく。	
		各コマにおける授業予定	各グループでパワーポイント発表の役割分担をし、発言内容を決めて練習する。			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	決められた発表時間でのプレゼンテーションができるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	パワーポイントを完成させ、発表のイメージを作っておく。	
		各コマにおける授業予定	各グループでパワーポイント発表の役割分担をし、発言内容を決めて練習する。			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	決められた発表時間でのプレゼンテーションができるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	パワーポイントを見やすいように修正をしておく。	
		各コマにおける授業予定	卒業研究発表会に向けて、発表の練習をおこない、クラスメイトからの助言をもらう。			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	決められた発表時間でのプレゼンテーションができるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	パワーポイントを見やすいように修正をしておく。	
		各コマにおける授業予定	卒業研究発表会に向けて、発表の練習をおこない、クラスメイトからの助言をもらう。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文修正、校正作業ができるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	論文の文章に誤りがないかチェックしておく。
		各コマにおける授業予定	作成した論文を点検し、誤字、脱字等の校正、文章の最終修正を行い、論文を完成させる。		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文修正、校正作業ができるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	論文の文章に誤りがないかチェックしておく。
		各コマにおける授業予定	作成した論文を点検し、誤字、脱字等の校正、文章の最終修正を行い、論文を完成させる。		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文修正、校正作業ができるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	論文の文章に誤りがないかチェックしておく。
		各コマにおける授業予定	作成した論文を点検し、誤字、脱字等の校正、文章の最終修正を行い、論文を完成させる。		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文修正、校正作業ができるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	論文の文章に誤りがないかチェックしておく。
		各コマにおける授業予定	作成した論文を点検し、誤字、脱字等の校正、文章の最終修正を行い、論文を完成させる。		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文を完成させられるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	自分たちの研究について、何ができて何ができていなかったのかを整理しておく。
		各コマにおける授業予定	作成した論文を点検し、誤字、脱字等の校正、文章の最終修正を行い、論文を完成させる。		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	論文を完成させられるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	自分たちの研究について、何ができて何ができていなかったのかを整理しておく。
		各コマにおける授業予定	作成した論文を点検し、誤字、脱字等の校正、文章の最終修正を行い、論文を完成させる。		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究をひとつの形にまとめることができるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	自分たちの研究について、何ができて何ができていなかったのかを整理しておく。
		各コマにおける授業予定	作成した論文を点検し、誤字、脱字等の校正、文章の最終修正を行い、論文を完成させる。		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究をひとつの形にまとめることができるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	自分たちの研究について、何ができて何ができていなかったのかを整理しておく。
		各コマにおける授業予定	作成した論文を点検し、誤字、脱字等の校正、文章の最終修正を行い、論文を完成させる。		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	1年間の総括を行い、研究とは何かを自身の考えをもとに説明できるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	自分たちの研究について、何ができて何ができていなかったのかを整理しておく。
		各コマにおける授業予定	各グループの研究の到達点を発表し、振り返りを行う。		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	1年間の総括を行い、研究とは何かを自身の考えをもとに説明できるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	自分たちの研究について、何ができて何ができていなかったのかを整理しておく。
		各コマにおける授業予定	各グループの研究の到達点を発表し、振り返りを行う。		

## 2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	ボランティア演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	地域福祉専攻 4年		学期及び曜時限	前期 火曜1.2限	教室名	1201
担 当 教 員	山田健太	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
さまざまな体験を通じて視野を広げ、社会で役立つスキルを身につける。考える力や発表能力を養う。 縦割りの特色を活かし、他学年との交流を図る。企画力や自発性を引き出す。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業態度) 10点      出席点 20点      定期テスト 70点      (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
レジュメ、演習教材						
《授業外における学習方法》						
さまざまなボランティアに参加してみる      関心を持ったテーマについて調べる						
《履修に当たっての留意点》						
できるだけ遅刻・欠席をしないこと。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	ボランティア活動の4原則について説明できるようになる	レジュメ	ボランティア活動の4原則について予習しておく	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、自己紹介			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動で主体的な学びにつなげる行動ができるようになる。	レジュメ	ボランティア活動ハンドブックを一読しておく	
		各コマにおける授業予定	ボランティア活動の意義・目的			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	バリアフリーについて説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	バリアフリー展の資料をまとめておく	
		各コマにおける授業予定	バリアフリー展報告、ライフサイクルゲーム			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	バリアフリーについて説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	バリアフリー展の資料をまとめておく	
		各コマにおける授業予定	バリアフリー展報告、ライフサイクルゲーム			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	学校周辺地区の避難経路について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	まち歩き実施地区のマップを見ておく	
		各コマにおける授業予定	避難訓練を兼ねたまち歩き			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	学校周辺地区の避難経路について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	まち歩き実施地区のマップを見ておく
		各コマにおける授業予定	避難訓練を兼ねたまち歩き		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	現場実習での学びの視点について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	就職フェアの参加事業所のHPを調べておく
		各コマにおける授業予定	イベント準備と実習対策／クロスロードゲーム		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	現場実習での学びの視点について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	就職フェアの参加事業所のHPを調べておく
		各コマにおける授業予定	イベント準備と実習対策／クロスロードゲーム		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	業界研究を深め、目指す領域について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	就職フェアでまわった事業所の資料をまとめておく
		各コマにおける授業予定	就職フェア報告		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	業界研究を深め、目指す領域について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	就職フェアでまわった事業所の資料をまとめておく
		各コマにおける授業予定	就職フェア報告		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	介護現場での食事形態、避難所での食事について説明できるようになる。	※調理実習室使用	調理の基本を調べておく
		各コマにおける授業予定	調理実習		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	介護現場での食事形態、避難所での食事について説明できるようになる。	※調理実習室使用	調理の基本を調べておく
		各コマにおける授業予定	調理実習		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピーの効果について説明できるようになる。	PC、プロジェクター、スピーカー	エクササイズの動画を見ておく
		各コマにおける授業予定	エクササイズ、アロマセラピー		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピーの効果について説明できるようになる。	PC、プロジェクター、スピーカー	エクササイズの動画を見ておく
		各コマにおける授業予定	エクササイズ、アロマセラピー		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	映画を通じて、自身の福祉観を再認識し、説明できるようになる。	PC、プロジェクター、スピーカー	映画のシーンで、自分ならどのような関わりをするか考える
		各コマにおける授業予定	福祉映画		



2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策演習(社会)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年		学期及び曜時限	後期	教室名	1104教室
担 当 教 員	今井 孝司	実務経験とその関連資格	滋慶学園にて同科目を20年担当。 龍谷大学大学院経済学研究科にて修士を取得。修士論文題名:「台湾の高齢者福祉」論で修士を取得。			
《授業科目における学習内容》						
①実施された模試問題の解題を行なう ②国家試験出題の傾向と対策を行なう ③それぞれの項目について強化を行なう						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
○学科指定の過去模試問題プリント ○『社会福祉士国家試験過去問一問一答+α 共通科目編』一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟						
《授業外における学習方法》						
少子・高齢社会の進行により発生する問題点をとり上げた新聞・ネットニュースなどの情報にたえず留意しておくこと。必要と思われる事項については切り抜き・スクラップ、またはタブレットやコンピュータ上に専用のファイルを作成し、保存・管理をしておくことが望まれる。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験受験予定者は日々対策学習が必須です。それを前提に授業は理解確認の場としてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題の整理と応用・発展から、練習問題の7割以上の正答ができるようになる。	配布プリント	ワークブック等で当該領域を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	現代社会と社会保障・社会保障の歴史			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題の整理と応用・発展から、練習問題の7割以上の正答ができるようになる。	配布プリント	ワークブック等で当該領域を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	社会保障の構造・課題			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題の整理と応用・発展から、練習問題の7割以上の正答ができるようになる。	配布プリント	ワークブック等で当該領域を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	年金保険制度			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題の整理と応用・発展から、練習問題の7割以上の正答ができるようになる。	配布プリント	ワークブック等で当該領域を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	医療保険制度			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題の整理と応用・発展から、練習問題の7割以上の正答ができるようになる	配布プリント	ワークブック等で当該領域を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	介護保険制度			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題の整理と応用・発展から、練習問題の7割以上の正答ができるようになる。	配布プリント	ワークブック等で当該領域を復習しておく
		各コマにおける授業予定	労働保険制度		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題の整理と応用・発展から、練習問題の7割以上の正答ができるようになる。	配布プリント	ワークブック等で当該領域を復習しておく
		各コマにおける授業予定	社会保障と民間保険・社会保障が当面する課題		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題の整理と応用・発展から、練習問題の7割以上の正答ができるようになる。	配布プリント	ワークブック等で当該領域を復習しておく
		各コマにおける授業予定	諸外国における社会保障制度		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	社会保障・人口問題研究所公表の新データを検討し理解を深め、練習問題の7割以上の正答ができるようになる。	配布プリント	ワークブック等で当該領域を復習しておく
		各コマにおける授業予定	社会保障の財源と費用		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	8月発行の厚生労働白書を検討し、理解を深め、練習問題の7割以上の正答ができるようになる。	配布プリント	ワークブック等で当該領域を復習しておく
		各コマにおける授業予定	厚生労働白書		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	本年度実施の模擬試験の出題傾向と解法を検討し、学習を深めるべき領域を理解できる。	配布プリント	ワークブック等で当該領域を復習しておく
		各コマにおける授業予定	模擬試験問題の検討		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	公的扶助領域の学びを深め、説明できるようになる。	配布プリント	ワークブック等で当該領域を復習しておく
		各コマにおける授業予定	生活保護の動向 1		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	公的扶助領域の学びを深め、説明できるようになる。	配布プリント	ワークブック等で当該領域を復習しておく
		各コマにおける授業予定	生活保護の動向 2		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	公的扶助領域の学びを深め、説明できるようになる。	配布プリント	ワークブック等で当該領域を復習しておく
		各コマにおける授業予定	生活保護以外の公的扶助領域の確認		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	解答のための技術論など検討し、国家試験の特性をつかむことができるようになる。	配布プリント	ワークブック等で当該領域を復習しておく
		各コマにおける授業予定	まとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	卒業研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	4年		学期及び曜時限	前期 水曜3・木曜2限	教室名	PCルーム、1104
担 当 教 員	原田 理恵/木寺 由美	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
3年生までの学習を基礎として、ゼミナール計式によって高度な専門的研究をすすめます。的確な論拠に基づいた社会福祉に関わる粘り強い研究をグループですすめ、相互に討議を行い研究の質を高めます。最終的には、卒業研究発表会でのパワーポイントによる発表と、卒業研究論文集に収録する論文を成果物として作成します						
《成績評価の方法と基準》						
卒業研究の成果物(パワーポイント、論文等)をもとに、到達目標に沿って評価(70%)、出席状況評価(20%)、日常的な専門研究に対する取り組みを評価(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
各グループによって異なりますので、グループの研究テーマに沿って随時紹介します						
《授業外における学習方法》						
卒業研究では、受講生の研究力量が問われます。PCルームを有効に活用し、自ら研究を行い、研究力量を高めていく努力が特に要請されます						
《履修に当たっての留意点》						
グループ研究ですので、グループメンバー内で討議しながら研究の質を高める努力が必要です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	グループメンバーで討議を行い、テーマ、研究方法が固められるようになる。	過去の卒業研究 論文集	各自のテーマを発表できる状態にしておく	
		各コマにおける授業予定	グループメンバーの確定			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査担当、論文担当など、担当を決め実行できるようになる。	過去の卒業研究 論文集	自分の得意なこと、できることを決めておく	
		各コマにおける授業予定	グループ内での担当決め			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	テーマ発表、研究テーマを固められるようになる。	過去の卒業研究 論文集、グループごとの 先行研究文献	グループメンバーで テーマを討議しておく	
		各コマにおける授業予定	グループごとにテーマ発表を行い、他のグループの人から意見をもらう			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	先行研究をまとめ、テーマを絞ることができるようになる。	過去の卒業研究 論文集、グループごとの 先行研究文献	先行研究の文献を図書館等を利用して調べておく	
		各コマにおける授業予定	パソコンを使って先行研究を調べ、研究テーマを深める			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査内容作成、調査依頼作成を通じて調査の流れを修得できるようになる。	過去の卒業研究 論文集、グループごとの 先行研究文献等	研究テーマに合う調査方法を討議しておく	
		各コマにおける授業予定	どのような調査をするのかを決め、内容を作成する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査内容作成、調査依頼作成を通じて調査の流れを修得できるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等	研究テーマに合う調査方法を討議しておく
		各コマにおける授業予定	どのような調査をするのかを決め、内容を作成する		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	仮調査(クラス内)を実施し、仮調査の流れを修得できるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等	調査をある程度完成させておく
		各コマにおける授業予定	グループごとに作成した調査をお試しでクラス内でおこない、他のグループメンバーから意見をもらう		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	仮調査(クラス内)を実施し、仮調査の流れを修得できるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等	調査をある程度完成させておく
		各コマにおける授業予定	グループごとに作成した調査をお試しでクラス内でおこない、他のグループメンバーから意見をもらう		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	仮調査(クラス内)を実施し、仮調査の流れを修得し、実践できるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等	調査のデータ化方法を決めておく
		各コマにおける授業予定	グループごとに作成した調査をお試しでクラス内でおこない、データ化してみる		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	仮調査(クラス内)を実施し、仮調査の流れを修得し、実践できるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等	調査のデータ化方法を決めておく
		各コマにおける授業予定	グループごとに作成した調査をお試しでクラス内でおこない、データ化してみる		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査を実施し、調査方法の理解を深めることができる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等	調査を行う分担を決めておく
		各コマにおける授業予定	社会福祉科、他学科、あるいは外部の方への調査をすすめる		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査を実施し、調査方法の理解を深められるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等	調査を行う分担を決めておく
		各コマにおける授業予定	社会福祉科、他学科、あるいは外部の方への調査をすすめる		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査を実施し、調査方法の理解を深められるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等	調査日時の調整や他学科、外部への依頼、挨拶をしておく
		各コマにおける授業予定	社会福祉科、他学科、あるいは外部の方への調査をすすめられるようになる。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査を実施し、調査方法の理解を深めることができる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等	調査日時の調整や他学科、外部への依頼、挨拶をしておく
		各コマにおける授業予定	社会福祉科、他学科、あるいは外部の方への調査をすすめられるようになる。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査結果をまとめ、調査方法について説明できるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等	集めたデータのまとめ方をグループ内で討議する
		各コマにおける授業予定	調査結果をまとめ、データ化する		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	卒業研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	4年		学期及び曜時間	前期 水曜3・木曜2限	教室名	PCルーム、1104
担当教員	原田 理恵/木寺 由美	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
3年生までの学習を基礎として、ゼミナール計式によって高度な専門的研究をすすめます。的確な論拠に基づいた社会福祉に関わる粘り強い研究をグループですすめ、相互に討議を行い研究の質を高めます。最終的には、卒業研究発表会でのパワーポイントによる発表と、卒業研究論文集に収録する論文を成果物として作成します						
《成績評価の方法と基準》						
卒業研究の成果物(パワーポイント、論文等)をもとに、到達目標に沿って評価(70%)、出席状況評価(20%)、日常的な専門研究に対する取り組みを評価(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
各グループによって異なりますので、グループの研究テーマに沿って随時紹介します						
《授業外における学習方法》						
卒業研究では、受講生の研究力量が問われます。PCルームを有効に活用し、自ら研究を行い、研究力量を高めていく努力が特に要請されます						
《履修に当たっての留意点》						
グループ研究ですので、グループメンバー内で討議しながら研究の質を高める努力が必要です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査結果をまとめ、調査方法について説明できるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等		集めたデータのまとめ方をグループ内で討議する
		各コマにおける授業予定	調査結果をまとめ、データ化する			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査結果をまとめ、調査方法について説明できるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等		集めたデータのまとめ方をグループ内で討議する
		各コマにおける授業予定	調査結果をまとめ、データ化する			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査結果をまとめ、調査方法について説明できるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等		集めたデータのまとめ方をグループ内で討議する
		各コマにおける授業予定	調査結果をまとめ、データ化する			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査結果をデータ化したものを分析できるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等		データ分析の方法を決めておく
		各コマにおける授業予定	データ分析をおこない、仮説とあわせて考察をしていく			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査結果をデータ化したものを分析できるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等		データ分析の方法を決めておく
		各コマにおける授業予定	データ分析をおこない、仮説とあわせて考察をしていく			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	分析方法を説明できるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等	データ分析の方法を決めておく
		各コマにおける授業予定	データ分析をおこない、仮説とあわせて考察をしていく		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	分析方法を説明できるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等	データ分析の方法を決めておく
		各コマにおける授業予定	データ分析をおこない、仮説とあわせて考察をしていく		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査したもののデータ入力、分析を行うことで、正しい手順で分析手法を実践できるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	パソコンスキルがない場合、エクセルの統計方法を勉強しておく。
		各コマにおける授業予定	調査が遅れているグループは早急を実施し、データ化する。分析手法はグループ内で相談の上、統計手法は教員から指示を受ける。		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査したもののデータ入力、分析を行うことで、正しい手順で分析手法を実践できるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	パソコンスキルがない場合、エクセルの統計方法を勉強しておく。
		各コマにおける授業予定	調査が遅れているグループは早急を実施し、データ化する。分析手法はグループ内で相談の上、統計手法は教員から指示を受ける。		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	自身の研究グループの分析手順を説明できるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	パソコンスキルがない場合、エクセルの統計方法を勉強しておく。
		各コマにおける授業予定	調査が遅れているグループは早急を実施し、データ化する。分析手法はグループ内で相談の上、統計手法は教員から指示を受ける。		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	自身の研究グループの分析手順を説明できるようになる。	過去の卒業研究論文集、各グループの先行研究論文、資料、書籍等	パソコンスキルがない場合、エクセルの統計方法を勉強しておく。
		各コマにおける授業予定	調査が遅れているグループは早急を実施し、データ化する。分析手法はグループ内で相談の上、統計手法は教員から指示を受ける。		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査結果から研究の考察を深め、自身の考えを論じることができるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等	先行研究を再度確認し、自分たちの研究の方向性を決めておく
		各コマにおける授業予定	グループ内で討議し、考察を深める		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査結果から研究の考察を深め、自身の考えを論じることができるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等	先行研究を再度確認し、自分たちの研究の方向性を決めておく
		各コマにおける授業予定	グループ内で討議し、考察を深める		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	パワーポイントで研究発表し、研究成果を伝えられるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等	パワーポイントを準備する
		各コマにおける授業予定	中間発表に加筆修正したものをクラス内で発表する		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	パワーポイントで研究発表し、研究成果を伝えられるようになる。	過去の卒業研究論文集、グループごとの先行研究文献等	パワーポイントを準備する
		各コマにおける授業予定	中間発表に加筆修正したものをクラス内で発表する		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策演習(社会)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年		学期及び曜時限	前期 水曜3限	教室名	1101/1104教室
担 当 教 員	原田 理恵、中谷 幸子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>国家試験問題、模擬問題を用いて、苦手科目を克服できるよう基礎から応用まで段階的に学習をすすめる。          ※認知特性に分かれてのグループ学習となります。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度) 10点      出席点 20点      定期テスト 70点      (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>「見て覚える！社会福祉士国試ナビ」中央法規出版          「社会福祉士国家試験のためのレビューブック」          必要に応じて資料等を配布します。</p>						
《授業外における学習方法》						
毎回、授業に関連する模擬問題を行うので、しっかり復習してください。						
《履修に当たっての留意点》						
問題を解きながら、ただ解くだけではなく、関連事項を一緒にまとめられるように整理しながら学習を進めてほしい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	介護保険の概要を説明できるようになる。		国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や 模擬問題を解き、解説 が分かるまで参考書な どで復習する。	
	各コマにおける 授業予定	高齢者に対する支援と介護保険制度 一問一答				
第2回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	介護保険法における組織(市町村、都道府県、国保連その他) の役割を整理し、説明できるようになる。		国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や 模擬問題を解き、解説 が分かるまで参考書な どで復習する。	
	各コマにおける 授業予定	高齢者に対する支援と介護保険制度 一問一答				
第3回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	福祉サービスに係る組織や団体についての理解し、説明でき ようになる。		国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や 模擬問題を解き、解説 が分かるまで参考書な どで復習する。	
	各コマにおける 授業予定	福祉サービスの組織と経営				
第4回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	経営と実際について理解し、説明できるようになる。		国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や 模擬問題を解き、解説 が分かるまで参考書な どで復習する。	
	各コマにおける 授業予定	福祉サービスの組織と経営				
第5回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	苦情解決、マネジメント、育児・休業制度等について説明でき ようになる。		国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や 模擬問題を解き、解説 が分かるまで参考書な どで復習する。	
	各コマにおける 授業予定	福祉サービスの組織と経営				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	障害者福祉制度の発展過程(海外、日本)の流れを説明できるようになる。	国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
		各コマにおける授業予定	障害者に対する支援と障害者自立支援制度		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	わが国における障害者福祉に関する法律を理解し、説明できるようになる。	国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
		各コマにおける授業予定	障害者に対する支援と障害者自立支援制度		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	障害者総合支援法の自立支援給付の理解を深め説明できるようになる。	国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
		各コマにおける授業予定	障害者に対する支援と障害者自立支援制度		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	障害者総合支援法の自立支援給付の理解を深め説明できるようになる。	国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
		各コマにおける授業予定	障害者に対する支援と障害者自立支援制度		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	障害者総合支援法の地域生活自立支援事業について整理し、説明できるようになる。	国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
		各コマにおける授業予定	障害者に対する支援と障害者自立支援制度		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	障害者施策関連法に関する概要とポイントについて説明できるようになる。	国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
		各コマにおける授業予定	障害者に対する支援と障害者自立支援制度		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	社会保障関係費について説明できるようになる。	国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
		各コマにおける授業予定	福祉行財政と福祉計画		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉計画の根拠法、それぞれの計画の関係についてまとめ、説明できるようになる。	国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
		各コマにおける授業予定	福祉行財政と福祉計画		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	行政機関における専門職の役割について説明できるようになる。	国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
		各コマにおける授業予定	福祉行財政と福祉計画		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療観察法の仕組みについて説明できるようになる。	国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
		各コマにおける授業予定	更生保護		



2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策演習(社会)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年		学期及び曜時限	後期	教室名	1204教室
担 当 教 員	中谷 幸子	実務経験とその関連資格	生活保護法に基づく更生施設にて生活指導員、老人福祉法に基づくケアハウスにて施設長他に従事。介護支援専門員、精神保健福祉士、社会福祉士			
<b>《授業科目における学習内容》</b> 国家試験問題、模擬問題を用いて、苦手科目を克服できるよう基礎から応用まで段階的に学習をすすめる。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 平常点(授業貢献度) 10点      出席点 20点      定期テスト 70点      (100点満点)						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 「見て覚える！社会福祉士国試ナビ」、「見て覚える！精神保健福祉士国試ナビ」中央法規出版 「社会福祉士国家試験のためのレビューブック」 必要に応じて資料等を配布します。						
<b>《授業外における学習方法》</b> 毎回、授業に関連する模擬問題を行うので、しっかり復習してください。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 問題を解きながら、ただ解くだけではなく、関連事項を一緒にまとめられるように整理しながら学習を進めてほしい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者分野、障害者分野、児童分野等それぞれの相談支援機関について整理し、理解できるようになる。	関連資料参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく	
		各コマにおける授業予定	各分野のマネジメント機関			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	児童虐待防止法、高齢者虐待防止法、障害者虐待防止法等を整理し、虐待実態調査等で現状を把握できるようになる。	関連資料参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく	
		各コマにおける授業予定	各分野の虐待対策			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	障害者等が入院生活、地域生活で必要となる権利擁護事業について整理し、理解できるようになる。	関連資料参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく	
		各コマにおける授業予定	権利擁護事業			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	障害者が就労するための関連法、制度について整理し、理解できるようになる。	関連資料参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく	
		各コマにおける授業予定	障害者の就労			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	2つの法律の共通点、相違点を整理し、理解を深めることができるようになる。	関連資料参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく	
		各コマにおける授業予定	介護保険と障害者総合支援法			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	我が国の自殺の状況を把握するとともに、対策等について理解できるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	自殺対策			
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	我が国のニートの実態把握を行うとともに、子ども・若者育成支援推進法、地域若者サポートステーション等の役割について理解できるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	子ども・若者育成支援／ひきこもり対策／いじめ防止対策			
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	ソーシャルワークの歴史と実践アプローチを整理し、理解できるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	主なソーシャルワークのアプローチ			
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	医療及び保護、民法上の親族、権利擁護事業を理解できるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	地域生活支援			
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	社会保障制度、生活保護制度を理解できるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	地域生活支援			
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	各分野の福祉計画の特徴を整理し、それぞれの関係性を理解できるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	福祉計画			
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直すことができるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	総合問題演習①			
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直すことができるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	総合問題演習②			
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直すことができるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	総合問題演習③			
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直すことができるようになる。		関連資料 参考書	参考書で復習し、疑問点を整理しておく
	各コマにおける授業予定	総合問題演習④			

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科	科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策演習(社会)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年	学期及び曜時限	前期 月曜3限	教室名	1104教室
担 当 教 員	向出 佳司	実務経験と その関連資格			

《授業科目における学習内容》

憲法, 行政法, 民法の基礎について実践的に理解し, それを相談援助活動等に活かすことができる。同時に, 国家試験において最低でも, 6割以上の得点をする事ができる。

《成績評価の方法と基準》

科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:『福祉と法学・法教育』(第6版) 株式会社滋慶出版  
参考図書:『新・社会福祉士養成講座19 権利擁護と成年後見制度』(第4版) 中央法規出版

《授業外における学習方法》

授業中に全9回実施する小テストで正解できなかったところを中心に復習し, すべての選択肢について, なぜ正しく, どこが誤っているのかを明らかにしておく。

《履修に当たっての留意点》

電子政府のホームページなどを利用して, 法律の原文に触れる努力を惜しまないこと。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	立憲主義(自由主義)と民主主義の関係について考察し, 説明することができるようになる。	・教科書 ・配布プリント	・教科書の該当する章を熟読し, 疑問点を整理しておく。
	各コマにおける授業予定	教科書第1編第7章 憲法の基本原理, 基本的人権総論 歴史的な経緯も踏まえつつ, 立憲主義と民主主義という観点から憲法の基本原理を探る。		
第2回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	人権規定の私人間効力について理解し, 説明できるようになる。	・教科書	・教科書の該当する章を熟読し, 疑問点を整理しておく。 ・主要判例について, 最高裁判所のホームページ等で調べておく。
	各コマにおける授業予定	教科書第1編第7章 憲法の基本原理, 基本的人権総論 基本的人権総論として, 人権の私人間効力, 法人の人権, 外国人の人権について扱う。併せて小テストを実施する。		
第3回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	基本的人権に関する主要な憲法判例についてその意義を理解し, 説明できるようになる。	・教科書	・教科書の該当する章を熟読し, 疑問点を整理しておく。 ・主要判例について, 最高裁判所のホームページ等で調べておく。
	各コマにおける授業予定	教科書第1編第8章 基本的人権各論 総則的規定(幸福追求権, 法の下での平等), 自由権について, 最高裁判所の判例を紹介しながら概説する。		
第4回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	基本的人権に関する主要な憲法判例についてその意義を理解し, 説明できるようになる。	・教科書	・教科書の該当する章を熟読し, 疑問点を整理しておく。 ・主要判例について, 最高裁判所のホームページ等で調べておく。
	各コマにおける授業予定	教科書第1編第8章 基本的人権各論 参政権, 社会権について, 最高裁判所の判例を紹介しながら概説する。併せて小テストを実施する。		
第5回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	日本国憲法第92条の「地方自治の本旨」について, 説明できるようになる。	・教科書	・教科書の該当する章を熟読し, 疑問点を整理しておく。
	各コマにおける授業予定	教科書第1編第9章 財政・地方自治と地方行政組織 憲法の財政と地方自治に関する規定を学び, 行政法への橋渡しを行う。併せて小テストを実施する。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「行政手続法」と「情報公開法」について説明できるようになる。	・教科書	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第10章 行政法総論と行政手続法・情報公開法 行政作用法としての「行政手続法」と「情報公開法」の要点を整理する。併せて小テストを実施する。		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「不服申立て前置」について説明できるようになる。	・教科書	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第11章 行政法審査法・行政事件訴訟法 処分についての不服申立てと処分取消訴訟の関係について取り上げる。		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	行政争訟二法(行政不服審査法と行政事件手続法)について説明できるようになる。	・教科書	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第11章 行政法審査法・行政事件訴訟法 行政争訟二法について概観し、国民・住民が違法な行政処分について争う手段について解説する。併せて小テストを実施する。		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	行政争訟二法の意義を理解したうえで、行政行為の定義や行政行為の公定力について説明できるようになる。	・教科書 ・配布プリント	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第12章 行政行為の概念 行政行為(行政処分)と裁量、行政行為の定義、行政行為の効力など、行政法学の理論的側面を扱う。併せて小テストを実施する。		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自己の行為による責任、使用者責任について説明できるようになる。	・教科書	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第13章 国家賠償法と民法の不法行為 「国家賠償法」と民法の不法行為法が、被害者への損害賠償という点では同じ機能を担っていることに着目する。		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自己の管理する物に対する責任について説明できるようになる。	・教科書	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第13章 国家賠償法と民法の不法行為 「国家賠償法」と民法の不法行為法の理解を通して、行政法から民法の財産法(債権法)への橋渡しを行う。併せて小テストを実施する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	契約の概念について説明できるようになる。	・教科書 ・配布プリント	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第14章 契約と消費者保護法 前章で学んだ不法行為と、契約が、民法上の主要な債権発生原因であることを説明した後、民法の契約について概説する。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	消費者保護法について説明できるようになる。	・教科書	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第14章 契約と消費者保護法 「消費者契約法」「特定商取引法」などの消費者保護法について概観する。		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	契約の概念や消費者保護法について説明できるようになる。	・教科書 ・配布プリント	・教科書の該当する章を熟読し、要点をまとめておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第14章 契約と消費者保護法 契約と消費者保護法についてのまとめを行い、小テストを実施する。		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	個人情報保護法について説明できるようになる。	・教科書 ・配布プリント	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
		各コマにおける授業予定	教科書第1編第15章 民法の物権、個人情報保護法 民法の物権法(相隣関係の規定など)を一瞥した後、個人情報保護法の構造について説明する。併せて小テストを実施する。		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科目名	国家試験対策演習(社会)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	4年		学期及び曜時限	後期	教室名	1104教室
担当教員	大澤 裕司	実務経験とその関連資格	宝塚市福祉課情緒障害児療育施設任用ケースワーカー(1984~1985)、神戸生命倫理研究会(運営委員)における医療政策調査研究(1988~2014)			
《授業科目における学習内容》						
3年次「社会調査の基礎」の習熟度を自己確認しつつ、国家試験形式の問題に慣れるよう、過去問題と予想模擬問題を解く演習を反復する						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
基本的に、プリント配布						
《授業外における学習方法》						
自前の参考書、教科書を参照しながら、特に理解不十分な分野の学説・理論、専門用語を徹底的に習得しなおすこと						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験の実問題を解きながら、3年次に学習した用語や理論の流れ・関連性をつかむよう意識して下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験の傾向を知り、答え合わせで正解文を筆記して理解できるようになる。	配布プリント		配布プリントをもとに復習し、疑問点をまとめておく
		各コマにおける授業予定	国家試験出題傾向解説と2023年国家試験(実問題)演習と解説			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験の傾向を知り、答え合わせで正解文を筆記して理解できるようになる。	配布プリント		配布プリントをもとに復習し、疑問点をまとめておく
		各コマにおける授業予定	国家試験(実問題)演習と解説			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験の傾向を知り、答え合わせで正解文を筆記して理解できるようになる。	配布プリント		配布プリントをもとに復習し、疑問点をまとめておく
		各コマにおける授業予定	国家試験(実問題)演習と解説			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験の傾向を知り、答え合わせで正解文を筆記して理解できるようになる。	配布プリント		配布プリントをもとに復習し、疑問点をまとめておく
		各コマにおける授業予定	国家試験(実問題)演習と解説			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験の傾向を知り、答え合わせで正解文を筆記して理解できるようになる。	配布プリント		配布プリントをもとに復習し、疑問点をまとめておく
		各コマにおける授業予定	国家試験(実問題)演習と解説			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験の傾向を知り、答え合わせで正解文を筆記して理解できるようになる。	配布プリント	配布プリントをもとに復習し、疑問点をまとめておく
		各コマにおける授業予定	国家試験(実問題)演習と解説、模擬問題と解説		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予想問題で応用力をつけれるようになる。	配布プリント	配布プリントをもとに復習し、疑問点をまとめておく
		各コマにおける授業予定	模擬問題と解説		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予想問題で応用力をつけれるようになる。	配布プリント	配布プリントをもとに復習し、疑問点をまとめておく
		各コマにおける授業予定	模擬問題と解説		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予想問題で応用力をつけれるようになる。	配布プリント	配布プリントをもとに復習し、疑問点をまとめておく
		各コマにおける授業予定	模擬問題と解説		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予想問題で応用力をつけれるようになる。	配布プリント	配布プリントをもとに復習し、疑問点をまとめておく
		各コマにおける授業予定	模擬問題と解説		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予想問題で応用力をつけれるようになる。	配布プリント	配布プリントをもとに復習し、疑問点をまとめておく
		各コマにおける授業予定	模擬問題と解説		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予想問題で応用力をつけれるようになる。	配布プリント	配布プリントをもとに復習し、疑問点をまとめておく
		各コマにおける授業予定	模擬問題と解説		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予想問題で応用力をつけれるようになる。	配布プリント	配布プリントをもとに復習し、疑問点をまとめておく
		各コマにおける授業予定	模擬問題と解説		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予想問題で応用力をつけれるようになる。	配布プリント	配布プリントをもとに復習し、疑問点をまとめておく
		各コマにおける授業予定	模擬問題と解説		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予想問題で応用力をつけれるようになる。	配布プリント	配布プリントをもとに復習し、疑問点をまとめておく
		各コマにおける授業予定	模擬問題と解説		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年		学期及び曜時限	前期 火曜4限	教室名	1104教室
担 当 教 員	今井 孝司	実務経験と その関連資格	滋慶学園にて同科目を20年担当。 龍谷大学大学院経済学研究科にて修士を取得。修士論文題名:「台湾の高齢者福祉」論で修士を取得。			
《授業科目における学習内容》						
①社会保障及び公的扶助領域の内容を復習する ②実施された模試問題の解題を行なう ③国家試験出題の傾向と対策を行なう						
《成績評価の方法と基準》						
模擬試験の成績、学科の方針による						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
○『最新・社会福祉士養成講座 社会保障』、中央法規出版 ○学科指定の過去模試問題プリント ○『社会福祉士国家試験過去問一問一答+α 共通科目編』 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟						
《授業外における学習方法》						
少子・高齢社会の進行により発生する問題点をとり上げた新聞・ネットニュースなどの情報にたえず留意しておくこと。必要と思われる事項については切り抜き・スクラップ、またはタブレットやコンピュータ上に専用のファイルを作成し、保存・管理しておくことが望まれる。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験受験予定者は日々対策学習が必須です。それを前提に授業は理解確認の場としてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護保険の成立背景と制度概要について説明できるようになる。	指定テキスト 指定プリント		介護保険制度について テキストを読んでおく
		各コマにおける授業予定	介護保障の制度理解 1			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護保険の制度運用と基準について説明できるようになる。	指定テキスト 指定プリント		前回配布プリントについて 今回授業範囲の大枠を 理解しておく 介護保障領域小テスト 実施の準備をしておく
		各コマにおける授業予定	介護保障の制度理解 2 介護保険領域小テスト実施			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	他の社会保険と経済連帯領域が異なることを把握し、労災保険制度について説明できるようになる。	指定テキスト 指定プリント		配布済プリントについて 今回授業範囲の大枠を 理解しておく
		各コマにおける授業予定	労働保険の制度理解 1 労災保険を中心に			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	雇用保険の制度構造について説明できるようになる。	指定テキスト 指定プリント		前回配布プリントについて 今回授業範囲の大枠を 理解しておく 労働保険領域小テスト 実施の準備をしておく
		各コマにおける授業予定	労働保険領域小テスト実施し、雇用保険について説明できるようになる。			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	学科から配布されている模試過去問題の出題意図と解法が習得できる	学科配布プリント		社会保険についてテキスト を読んでおく
		各コマにおける授業予定	学科配布プリントの解題 1			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	学科から配布されている模試過去問題の出題意図と解法を習得する	学科配布プリント	社会保険についてテキストを読んでおく
		各コマにおける授業予定	学科配布プリントの解題 2		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	学科から配布されている模試過去問題の出題意図と解法を習得できる	学科配布プリント	社会保険についてテキストを読んでおく
		各コマにおける授業予定	学科配布プリントの解題 3		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	社会保障の歴史・構造・財源と費用の出題傾向について理解できるようになる。	一問一答 プロジェクター	社会保障のテキストの該当箇所を読んでおく
		各コマにおける授業予定	一問一答をこなす 1		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	年金保険・介護保険の出題傾向について理解できるようになる。	一問一答	社会保障のテキストの該当箇所を読んでおく
		各コマにおける授業予定	一問一答をこなす 2		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	医療保険・労働保険の出題傾向について理解できるようになる。	一問一答	社会保障のテキストの該当箇所を読んでおく
		各コマにおける授業予定	一問一答をこなす 3		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	その他社会保障領域の過去問題の出題傾向について理解できるようになる。	一問一答	社会保障のテキストの該当箇所を読んでおく
		各コマにおける授業予定	一問一答をこなす 4		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	第11回までの講義から作問した問題を解き、社会保障の概要について説明できるようになる。	指定テキスト	前回までの授業範囲の大枠を理解しておく
		各コマにおける授業予定	講師による国家試験疑似問題を解く		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	当該範囲から出題された模試・過去問題を解くことで、内容を整理する能力を身につけることができる。	指定テキスト	社会保障のテキストの該当箇所を読んでおく
		各コマにおける授業予定	社会保障の課題・社会保障と民間保険		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	英・仏・独・米・スウェーデンの社会保障制度構造について説明できるようになる。	指定テキスト	社会保障のテキストの該当箇所を読んでおく
		各コマにおける授業予定	諸外国における社会保障制度		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	社人研発表の最新社会保障給付費と社会支出の問題を解き、説明できるようになる。	社人研データ プロジェクター	前回配布プリントについて今回授業範囲の大枠を理解しておく 13～15回授業内容小テスト実施の準備をしておく
		各コマにおける授業予定	社会保障の費用・財源 理解確認テストの実施		



2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	国家試験対策演習(社会)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	4年生		学期及び曜時限	前期 月曜4限	教室名	1104教室
担当教員	大澤 裕司	実務経験とその関連資格	宝塚市福祉課情緒障害児療育施設任用ケースワーカー(1984~1985)、神戸生命倫理研究会(運営委員)における医療政策調査研究(1988~2014)			
《授業科目における学習内容》						
「社会理論と社会システム」の習熟度を自己確認しつつ、国家試験形式の問題に慣れるよう、過去問題と予想模擬問題を解く演習を反復する						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験:70%、出席評価点:20%、平常評価点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
基本的に、プリント配布						
《授業外における学習方法》						
自前の参考書、教科書を参照しながら、特に理解不十分な分野の学説・理論、専門用語を徹底的に習得しなおすこと						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験の実問題を解きながら、3年次に学習した用語や理論の流れ・関連性をつかむよう意識して下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験の傾向を知り、答え合わせで正解文を筆記して理解できるようになる。	配布プリント		過去の国家試験に目を通して、出題レベルを確認しておく。
		各コマにおける授業予定	国家試験出題傾向解説と問題演習と解説			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験の傾向を知り、答え合わせで正解文を筆記して理解できるようになる。	配布プリント		授業で取り組んだ問題を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	国家試験(実問題)演習と解説			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験の傾向を知り、答え合わせで正解文を筆記して理解できるようになる。	配布プリント		授業で取り組んだ問題を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	国家試験(実問題)演習と解説			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験の傾向を知り、答え合わせで正解文を筆記して理解できるようになる。	配布プリント		授業で取り組んだ問題を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	国家試験(実問題)演習と解説			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験の傾向を知り、答え合わせで正解文を筆記して理解できるようになる。	配布プリント		授業で取り組んだ問題を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	国家試験(実問題)演習と解説			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験の傾向を知り、答え合わせで正解文を筆記して理解できるようになる。	配布プリント	授業で取り組んだ問題を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	2011,2010年国家試験(実問題)演習と解説、模擬問題と解説		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予想問題で応用問題が解けるようになる。	配布プリント	授業で取り組んだ問題を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	模擬問題と解説		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予想問題で応用問題が解けるようになる。	配布プリント	授業で取り組んだ問題を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	模擬問題と解説		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予想問題で応用問題が解けるようになる。	配布プリント	授業で取り組んだ問題を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	模擬問題と解説		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予想問題で応用問題が解けるようになる。	配布プリント	授業で取り組んだ問題を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	模擬問題と解説		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予想問題で応用問題が解けるようになる。	配布プリント	授業で取り組んだ問題を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	模擬問題と解説		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予想問題で応用問題が解けるようになる。	配布プリント	授業で取り組んだ問題を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	模擬問題と解説		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予想問題で応用問題が解けるようになる。	配布プリント	授業で取り組んだ問題を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	模擬問題と解説		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予想問題で応用問題が解けるようになる。	配布プリント	授業で取り組んだ問題を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	模擬問題と解説		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予想問題で応用問題が解けるようになる。	配布プリント	授業で取り組んだ問題を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	模擬問題と解説		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年		学期及び曜時限	前期 木曜4限	教室名	1104教室
担 当 教 員	濱田 智子	実務経験とその関連資格	歯科医師(口腔外科)。大学病院の口腔外科にて脳血管障害、循環器疾患、糖尿病などの全身疾患を有した有病者の急性期観血的処置治療や入院下の全身管理下に口腔顎顔面領域の診療に従事。			
《授業科目における学習内容》						
ヒトのからだの構造と機能を知り、疾病に関する十分な知識を持つ。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「最新・社会福祉士養成講座 医学概論」中央法規出版						
《授業外における学習方法》						
毎回小テストを実施しますのでよく復習してください。また、授業中に配布された重要ポイントをまとめたプリントについても復習して、理解を深めてください。						
《履修に当たっての留意点》						
人体の機能分野の対象は広く、キーワードはこの科目の学習すべき項目で試験の出題範囲ですが、講義では限られた項目しか取り扱えません。興味をもった分野は自分でさらに学習して下さい。疑問がありましたら積極的に質問して下さい						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	健康の概念を学ぶ。身体の大まかな構造と機能を説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。	
		各コマにおける授業予定	人の成長・発達と老化について学ぶ。			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	血液の構成と役割について説明できる。代表的な血液疾患について説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。	
		各コマにおける授業予定	血液の成分、造血器、について説明できるようになる。			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心臓の構造、肺循環と体循環の違いを説明できる。また高血圧症や代表的な循環器疾患について説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。	
		各コマにおける授業予定	循環器系の構造・機能について学ぶ。			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系の構造と呼吸運動、そしてガス交換のメカニズムを説明できる。また代表的な呼吸器疾患について説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。	
		各コマにおける授業予定	呼吸器系の構造・機能について学ぶ。			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。また代表的な消化器疾患について説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	・教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。	
		各コマにおける授業予定	消化器系の構造・機能について学ぶ。			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	糖尿病・メタボリック症候群・その他の加齢に伴う主な疾患について説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
	各コマにおける授業予定	内分泌・代謝系の構造・機能について学ぶ。		
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を説明できる。そして尿の生成メカニズムについて説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
	各コマにおける授業予定	泌尿器の構造と腎臓疾患について学ぶ。		
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	眼球の構造を説明できる。緑内障や白内障などの代表的な眼疾患について説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
	各コマにおける授業予定	眼球と付属器の構造と機能、眼疾患について学ぶ。		
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	外耳・中耳・内耳の構造を説明できる。難聴、中耳炎、メニエール症候群などの代表的な疾患について説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
	各コマにおける授業予定	耳の構造と機能、耳の疾患について学ぶ。		
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	感染症法の分類、代表的な疾患について説明できる。また感染予防について説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
	各コマにおける授業予定	感染症法・感染病原体の基礎知識・主な感染症について学ぶ。		
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	特異的免疫機構と非特異的免疫機構について説明できる。アレルギーの原因と機序を説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
	各コマにおける授業予定	免疫とアレルギー疾患について学ぶ。		
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	中枢神経と末梢神経について説明できる。脊髄と脳の各部位の構造と機能を説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
	各コマにおける授業予定	神経系の構造と機能について学ぶ。		
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	大脳皮質の機能局在、高次脳機能について説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
	各コマにおける授業予定	大脳皮質の構造と機能について学ぶ。		
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	アルツハイマー型認知症や脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型変性症について説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
	各コマにおける授業予定	認知症の概念、認知症の原因と治療について学ぶ。		
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	代表的な先天性疾患の原因や症状について説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書の該当する章を熟読し、疑問点を整理しておく。
	各コマにおける授業予定	遺伝子や染色体の構造、遺伝子異常と先天性疾患について学ぶ。		

## 2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年(地域福祉専攻)		学期及び曜時限	前期 金曜1限	教室名	1104教室
担 当 教 員	石澤 宜子	実務経験とその関連資格	高齢者施設にて介護職員として従事。社会福祉士を保有。			
《授業科目における学習内容》						
社会福祉士国家試験に向けて模擬問題や過去問題に取り組み、問題文と選択肢を読み解きながら基礎知識を復習するとともに重要語句の暗記を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度)10点 出席点 20点 定期テスト70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「見て覚える！社会福祉士国試ナビ」中央法規出版株式会社 「社会福祉士国家試験過去問題解説集」中央法規出版株式会社 「社会福祉士国家試験のためのレビューブック」株式会社メディックメディア						
《授業外における学習方法》						
得意科目と苦手科目を自覚し、各科目ごとに自分なりの勉強方法を決め1科目1点ずつ正答率を着実に上げることを意識して問題に取り組んで下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
勉強を進めるなかで感じた疑問や苦手意識をそのままにせず、向き合いながら少しずつ解消していきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題や模擬問題を解き、選択肢がなぜ誤っているのかを説明出来るようになる。	関連資料参考書		過去問題や模擬問題を解き、出題語句を言語化して説明出来るまで理解を深める
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、過去問の解答解説 更生保護制度			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題や模擬問題を解き、選択肢がなぜ誤っているのかを説明出来るようになる。	関連資料参考書		過去問題や模擬問題を解き、出題語句を言語化して説明出来るまで理解を深める
		各コマにおける授業予定	就労支援サービス			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題や模擬問題を解き、選択肢がなぜ誤っているのかを説明出来るようになる。	関連資料参考書		過去問題や模擬問題を解き、出題語句を言語化して説明出来るまで理解を深める
		各コマにおける授業予定	児童や家庭に関する支援と児童・家庭福祉制度①			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題や模擬問題を解き、選択肢がなぜ誤っているのかを説明出来るようになる。	関連資料参考書		過去問題や模擬問題を解き、出題語句を言語化して説明出来るまで理解を深める
		各コマにおける授業予定	児童や家庭に関する支援と児童・家庭福祉制度②			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題や模擬問題を解き、選択肢がなぜ誤っているのかを説明出来るようになる。	関連資料参考書		過去問題や模擬問題を解き、出題語句を言語化して説明出来るまで理解を深める
		各コマにおける授業予定	高齢者に対する支援と介護保険制度①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題や模擬問題を解き、選択肢がなぜ誤っているのかを説明出来るようになる。	関連資料 参考書	過去問題や模擬問題を解き、出題語句を言語化して説明出来るまで理解を深める
		各コマにおける授業予定	高齢者に対する支援と介護保険制度②		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題や模擬問題を解き、選択肢がなぜ誤っているのかを説明出来るようになる。	関連資料 参考書	過去問題や模擬問題を解き、出題語句を言語化して説明出来るまで理解を深める
		各コマにおける授業予定	福祉サービスの組織と経営①		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題や模擬問題を解き、選択肢がなぜ誤っているのかを説明出来るようになる。	関連資料 参考書	過去問題や模擬問題を解き、出題語句を言語化して説明出来るまで理解を深める
		各コマにおける授業予定	福祉サービスの組織と経営②		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題や模擬問題を解き、選択肢がなぜ誤っているのかを説明出来るようになる。	関連資料 参考書	過去問題や模擬問題を解き、出題語句を言語化して説明出来るまで理解を深める
		各コマにおける授業予定	相談援助の理論と方法①		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題や模擬問題を解き、選択肢がなぜ誤っているのかを説明出来るようになる。	関連資料 参考書	過去問題や模擬問題を解き、出題語句を言語化して説明出来るまで理解を深める
		各コマにおける授業予定	相談援助の理論と方法②		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題や模擬問題を解き、選択肢がなぜ誤っているのかを説明出来るようになる。	関連資料 参考書	過去問題や模擬問題を解き、出題語句を言語化して説明出来るまで理解を深める
		各コマにおける授業予定	相談援助の基盤と専門職①		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題や模擬問題を解き、選択肢がなぜ誤っているのかを説明出来るようになる。	関連資料 参考書	過去問題や模擬問題を解き、出題語句を言語化して説明出来るまで理解を深める
		各コマにおける授業予定	相談援助の基盤と専門職②		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題や模擬問題を解き、選択肢がなぜ誤っているのかを説明出来るようになる。	関連資料 参考書	過去問題や模擬問題を解き、出題語句を言語化して説明出来るまで理解を深める
		各コマにおける授業予定	社会調査の基礎①		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題や模擬問題を解き、選択肢がなぜ誤っているのかを説明出来るようになる。	関連資料 参考書	過去問題や模擬問題を解き、出題語句を言語化して説明出来るまで理解を深める
		各コマにおける授業予定	社会調査の基礎②		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	過去問題や模擬問題を解き、選択肢がなぜ誤っているのかを説明出来るようになる。	関連資料 参考書	過去問題や模擬問題を解き、出題語句を言語化して説明出来るまで理解を深める
		各コマにおける授業予定	総合問題(専門科目)		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策演習(社会)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年 地域福祉専攻		学期及び曜時間	後期	教室名	602教室
担 当 教 員	原田 理恵	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
国家試験問題、模擬問題を用いて、関連する分野の知識を体系化し、苦手科目を克服できるよう基礎から応用まで段階的に学習をすすめる。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「見て覚える!社会福祉士国試ナビ」中央法規出版 「社会福祉士国家試験のためのレビューブック」 必要に応じて資料等を配布します。						
《授業外における学習方法》						
毎回、授業の前後で各自の学習理解状況の確認問題を行うので、しっかり予習復習してください。						
《履修に当たっての留意点》						
問題を解きながら、ただ解くだけではなく、関連事項を一緒にまとめられるように整理しながら学習を進めてほしい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「現代社会と福祉」「社会保障」に関する問題から出題傾向を把握し、説明できるようになる。	関連資料 参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す	
		各コマにおける授業予定	イギリスの年代ごとの報告書の内容を理解し、福祉国家の歩みと諸外国への影響を理解する			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「社会保障」「現代社会と福祉」「福祉行財政と福祉計画」に関する問題から出題傾向を把握し、説明できるようになる。	関連資料 参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す	
		各コマにおける授業予定	社会保障制度の概況、50年勧告、社会支出の国際比較、福祉レジューム			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「低所得者に対する支援と生活保護制度」「就労支援サービス」に関する問題を解き、説明できるようになる。	関連資料 参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す	
		各コマにおける授業予定	ナショナルミニマム、生存権の保障、ワークフェア、就労支援、ハローワークの役割			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「現代社会と福祉」「地域福祉の理論と方法」に関する問題を通して、出題傾向を把握し、説明できるようになる。	関連資料 参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す	
		各コマにおける授業予定	福祉政策の資源の配分に関する諸理論、福祉ミックス論、福祉多元主義、新自由主義			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「現代社会と福祉」「地域福祉の理論と方法」に関する問題を通して、出題傾向を把握し、説明できるようになる。	関連資料 参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す	
		各コマにおける授業予定	福祉政策におけるニーズ(必要)についての諸理論、ブラッドショウ、岡村重夫、三浦文雄のニーズの分類、ニーズ判定の仕組み、アウトリーチの方法			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第5回までの範囲の総合問題演習で知識の定着ができるようになる。	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	一問一答形式の問題で、苦手な分野や、間違いやすい問題の見直しを行う		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	共通科目の苦手科目について、頻出問題を中心に得点率が上がる。	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	人体の構造と機能及び疾病の「認知症の類型と症状」「高齢者の病態と特徴」		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	共通科目の苦手科目について、頻出問題を中心に得点率が上がる。	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	心理学理論と心理的支援の「防衛機制」「学習・記憶・思考」「発達」		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	共通科目の苦手科目について、頻出問題を中心に得点率が上がる。	関連資料、厚生労働白書参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	社会理論と社会システムの「世帯の状況」「社会集団及び組織」「社会問題の理解」		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	共通科目の苦手科目について、頻出問題を中心に得点率が上がる。	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	保健医療サービスの「国民医療費」「診療報酬」「医療施設の概要」		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢、医療、地域、障害、児童の各分野の福祉計画の特徴を整理し、それぞれの関係性について説明できるようになる。	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	福祉計画と行政組織、財源との関係		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	共通科目の苦手科目について、頻出問題を中心に得点率が上がる。	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	権利擁護と成年後見制度の「認知症を有する人への支援の実際」「消費者被害を受けた者への対応」		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	得点源になりやすい科目の総復習を行い、一定の目標得点を達成できるようになる。	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	相談援助の理論と方法の「相談援助の面接技術」「相談援助における援助関係」「スーパービジョン」		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	得点源になりやすい科目の総復習を行い、一定の目標得点を達成できるようになる。	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	相談援助の基盤と専門職の「社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義」「専門職倫理と倫理的ジレンマ」「国際ソーシャルワーカー連盟の定義」		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	得点源になりやすい科目の総復習を行い、一定の目標得点を達成できるようになる。	関連資料参考書	ノートを作り、問題を解き、誤っている箇所を指摘し、正答に書き直す
		各コマにおける授業予定	19科目全ての総合問題演習		



2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策演習(社会)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年(地域福祉専攻)		学期及び曜時限	前期 金曜3限	教室名	1104教室
担 当 教 員	野村 昌史	実務経験と その関連資格	高齢者施設、障害者の就労支援施設で相談員、支援員として勤務。 社会福祉士/精神保健福祉士を保有 医療安全学修士課程修了(障害者雇用におけるマネジメント手法の研究)			
《授業科目における学習内容》						
国家試験問題、模擬問題を用いて、苦手科目を克服できるよう基礎から応用まで段階的に学習をすすめる。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「見て覚える!社会福祉士国試ナビ」中央法規出版 「社会福祉士国家試験のためのレビューブック」 必要に応じて資料等を配布します。						
《授業外における学習方法》						
毎回、授業に関連する問題演習を行うので、しっかり復習してください。						
《履修に当たっての留意点》						
問題を解きながら、ただ解くだけではなく、関連事項を一緒にまとめられるように、前期はノートづくりを行い、整理しながら学習を進めてほしい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	昨年度の国家試験の出題傾向を把握し、今年度の国家試験に向けてモチベーションを高められるようになる。	国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、選択肢の誤文を正文に修正して把握する等の能動的な作業を行う	
		各コマにおける授業予定	1年次配当科目から順番に、頻出出題範囲を復習し、問題演習を行う			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「現代社会と福祉」に出題される「各国の社会福祉制度」「福祉国家」に関する知識の理解を深め、5肢択一の問題を解けるようになる。	国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、選択肢の誤文を正文に修正して把握する等の能動的な作業を行う	
		各コマにおける授業予定	「各国の社会福祉制度」に関する説明および社会福祉士国家試験過去問題の解答解説を行い、知識定着を図る。			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「福祉サービスの組織と経営」に出題される福祉サービスに係る組織や団体についての知識を理解し、整理できるようになる。	国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。	
		各コマにおける授業予定	「福祉政策の構成要素」「社会福祉法人、医療法人、NPO法人」に関する知識の復習と、社会福祉士国家試験過去問題の解答解説を行い、知識定着を図る。			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「高齢者に対する支援と介護保険制度」に出題される介護保険制度についての知識を理解し、整理できるようになる。	国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。	
		各コマにおける授業予定	後期高齢者医療制度、国民健康保険団体連合会、中央社会保険医療協議会に関する知識の復習と、社会福祉士国家試験過去問題の解答解説を行い、知識定着を図る。			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「社会保障」「高齢者に対する支援と介護保険制度」に関する問題を解き、説明できるようになる。	国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。	
		各コマにおける授業予定	社会保障の役割、人口減社会の課題、限界集落、高齢化率の動向に関する知識を整理し、問題演習で知識の定着を図る。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	苦情解決、マネジメント、育児・休業制度等について、複数の科目を横断的に亘った知識として整理し、理解できるようになる。		国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
	各コマにおける授業予定	日常生活自立支援制度、社会福祉協議会、成年後見制度、地域包括支援センター、成年後見支援センター、児童相談所、家庭裁判所の役割としくみに関する知識を整理し、問題演習で知識の定着を図る。			
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	「障害者に関する支援と障害者自立支援制度」「現代社会と福祉」に関する問題が解けるようになる。		国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
	各コマにおける授業予定	社会福祉基礎構造改革、措置制度、支援費制度、障害者自立支援法、障害者総合支援法に関する知識を整理し、問題演習で知識の定着を図る。			
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	「障害者に関する支援と障害者自立支援制度」に関する問題が解けるようになる。		国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
	各コマにおける授業予定	障害者総合支援法の地域生活自立支援事業について整理し、問題演習で知識の定着を図る。			
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	「低所得者に対する支援と生活保護制度」における「公的扶助の概念と歴史」に関する知識の理解を深め、5肢択一の問題を解けるようになる。		国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
	各コマにおける授業予定	「公的扶助の概念と歴史」「ナショナルミニマム」に関する知識の復習と社会福祉士国家試験問題の解答解説を行い、知識定着を図る。			
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	「社会保障」「低所得に対する支援と生活保護」に関する知識の理解を深め、5肢択一の問題を解けるようになる。		国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
	各コマにおける授業予定	公的扶助制度と社会保険制度の相違点について整理し、問題演習で知識の定着を図る。			
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	「福祉行財政と福祉計画」に関する知識の理解を深め、5肢択一の問題を解けるようになる。		国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
	各コマにおける授業予定	福祉計画の根拠法、それぞれの計画の関係、相違点について整理し、問題演習で知識の定着を図る。			
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	「社会保障」「就労支援サービス」に関する問題が解けるようになる。		国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
	各コマにおける授業予定	雇用保険の失業等給付の内容、職業リハビリテーション機関の役割、ハローワークの役割について整理し、問題演習で知識の定着を図る。			
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	最新の過去問題、模擬問題を解きなおし、間違った箇所の復習を行い、苦手科目に対し計画的に学習できるようになる。		国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
	各コマにおける授業予定	苦手科目の克服の程度を、確認するための問題演習			
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	最新の過去問題、模擬問題を解きなおし、間違った箇所の復習を行い、苦手科目に対し計画的に学習できるようになる。		国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
	各コマにおける授業予定	苦手科目の克服の程度を、確認するための問題演習			
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	最新の過去問題、模擬問題を解きなおし、間違った箇所の復習を行い、苦手科目に対し計画的に学習できるようになる。		国試関連問題 関連資料 参考書	自宅学習にて過去問や模擬問題を解き、解説が分かるまで参考書などで復習する。
	各コマにおける授業予定	苦手科目の克服の程度を、確認するための問題演習			

## 2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ボランティア演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	地域福祉専攻 4年		学期及び曜時限	後期	教室名	1201
担 当 教 員	山田健太	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
さまざまな体験を通じて視野を広げ、社会で役立つスキルを身につける。考える力や発表能力を養う。 縦割りの特色を活かし、他学年との交流を図る。企画力や自発性を引き出す。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業態度) 10点      出席点 20点      定期テスト 70点      (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
レジュメ、活動報告						
《授業外における学習方法》						
さまざまなボランティアに参加してみる      関心を持ったテーマについて調べる						
《履修に当たっての留意点》						
できるだけ遅刻・欠席をしないこと。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	後期の授業終了後の成長した自分をイメージできるようになる。	レジュメ 昨年の研修報告書	前期の授業を振り返っておく	
		各コマにおける授業予定	後期の抱負①			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	後期の授業終了後の成長した自分をイメージできるようになる。	レジュメ 昨年の研修報告書	前期の授業を振り返っておく	
		各コマにおける授業予定	後期の抱負②			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	研修を通じて学んだこと、感じたことを言語化できるようになる。	レジュメ 昨年の研修報告書	宿泊研修の活動記録をまとめておく	
		各コマにおける授業予定	一泊研修や基礎実習の報告			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	研修を通じて学んだこと、感じたことを言語化できるようになる。	レジュメ 昨年の研修報告書	宿泊研修の活動記録をまとめておく	
		各コマにおける授業予定	一泊研修や基礎実習の報告			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	分化交流の企画立案ができる	レジュメ 昨年の活動報告書	分化交流で実践したいことを各自考えておく	
		各コマにおける授業予定	アメリカ研修に向けて			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	分化交流の企画立案ができるようになる。	レジュメ 昨年の活動報告書	分化交流で実践したいことを各自考えておく
		各コマにおける授業予定	アメリカ研修に向けて		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	映画を通じて、自身の福祉観を語れるようになる。	PC、プロジェクター、スピーカー	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	福祉映画		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	映画を通じて、自身の福祉観を語れるようになる。	PC、プロジェクター、スピーカー	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	福祉映画		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	研修を通じて学んだこと、感じたことを言語化できるようになる。	活動報告書	海外研修の活動報告をまとめておく
		各コマにおける授業予定	海外研修報告、アロマケア		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	研修を通じて学んだこと、感じたことを言語化できるようになる。	活動報告書	海外研修の活動報告をまとめておく
		各コマにおける授業予定	海外研修報告、アロマケア		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動実践と国家試験の学習を結びつけることができるようになる。	レジュメ	地域福祉の理論と方法の国家試験の過去問をJ-webで解く
		各コマにおける授業予定	試験対策		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動実践と国家試験の学習を結びつけることができるようになる。	レジュメ	地域福祉の理論と方法の国家試験の過去問をJ-webで解く
		各コマにおける授業予定	試験対策		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	社会福祉士に必要な介護技術を理解し、社会福祉士が介護について学ぶ意義について考えを述べることができるようになる。	レジュメ	介護についてテキストで復習しておく
		各コマにおける授業予定	介護の日にちなんで		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	社会福祉士に必要な介護技術を理解し、社会福祉士が介護について学ぶ意義について考えを述べることができるようになる。	レジュメ	介護についてテキストで復習しておく
		各コマにおける授業予定	介護の日にちなんで		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	興味あるテーマでの学びを社会福祉士が実践する技術と結びつけることができるようになる。	レジュメ ワークシート	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	リクエストテーマ		

## 2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ボランティア演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	地域福祉専攻 4年		学期及び曜時限	後期	教室名	1201
担 当 教 員	山田健太	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
さまざまな体験を通じて視野を広げ、社会で役立つスキルを身につける。考える力や発表能力を養う。縦割りの特色を活かし、他学年との交流を図る。企画力や自発性を引き出す。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業態度) 10点      出席点 20点      定期テスト 70点      (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
レジュメ、活動報告						
《授業外における学習方法》						
さまざまなボランティアに参加してみる      関心を持ったテーマについて調べる						
《履修に当たっての留意点》						
できるだけ遅刻・欠席をしないこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	興味あるテーマでの学びを社会福祉士が実践する技術と結びつけることができるようになる。	レジュメ ワークシート		興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	リクエストテーマ			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	障害者の抱える生活の困難さな、望んでいることを認識できるようになる。	レジュメ ワークシート		3障害についてテキストで復習しておく
		各コマにおける授業予定	障害者週間にちなんで			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	障害者の抱える生活の困難さな、望んでいることを認識できるようになる。	レジュメ ワークシート		3障害についてテキストで復習しておく
		各コマにおける授業予定	障害者週間にちなんで			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	後輩に対してのサポートと上級生からのフィードバックを経て、立場を越えたかかわり方ができるようになる。	レジュメ ワークシート		企画を立案しておく
		各コマにおける授業予定	2年生企画			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	後輩に対してのサポートと上級生からのフィードバックを経て、立場を越えたかかわり方ができるようになる。	レジュメ ワークシート		企画を立案しておく
		各コマにおける授業予定	2年生企画			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標 介護現場での食事形態、避難所での食事について理解を深め、調理技術が向上する。	※調理実習室使用	前期の調理実習を振り返っておく
	各コマにおける授業予定	調理実習		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標 介護現場での食事形態、避難所での食事について理解を深め、調理技術が向上する。	※調理実習室使用	前期の調理実習を振り返っておく
	各コマにおける授業予定	調理実習		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標 春季の長期休暇中で実践したい地域活動を考え、自身の成長について具体的に考えることができるようになる。	レジュメ ワークシート	実践したい地域活動について考えておく
	各コマにおける授業予定	新春プログラム		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標 春季の長期休暇中で実践したい地域活動を考え、自身の成長について具体的に考えることができるようになる。	レジュメ ワークシート	実践したい地域活動について考えておく
	各コマにおける授業予定	新春プログラム		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標 災害ソーシャルワークについて説明できるようになる。	レジュメ	阪神淡路大震災、東日本大震災について調べておく
	各コマにおける授業予定	災害を考える		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標 災害ソーシャルワークについて説明できるようになる。	レジュメ	阪神淡路大震災、東日本大震災について調べておく
	各コマにおける授業予定	災害を考える		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標 後輩に対してのサポートを実践する中で、人を育てる必要性について説明できるようになる。	レジュメ ワークシート	企画を立案しておく
	各コマにおける授業予定	3年生企画		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標 後輩に対してのサポートを実践する中で、人を育てる必要性について説明できるようになる。	レジュメ ワークシート	企画を立案しておく
	各コマにおける授業予定	3年生企画		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標 ボランティア活動へ臨む姿勢について、自身の考えを述べることができるようになる。	レジュメ レポート	これまで実践してきたボランティア活動を振り返っておく
	各コマにおける授業予定	ふり返り		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標 ボランティア活動へ臨む姿勢について、自身の考えを述べることができるようになる。	レジュメ レポート	これまで実践してきたボランティア活動を振り返っておく
	各コマにおける授業予定	ふり返り		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	国家試験対策演習(精神)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年		学期及び曜時限	後期	教室名	1104教室
担 当 教 員	畑 久 雄	実務経験と その関連資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎医学研修3年</li> <li>・精神科病院勤務19年</li> <li>・社会福祉法人 理事、監事12年</li> </ul>			
《授業科目における学習内容》						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象科目;精神疾患とその治療、精神保健の課題と支援</li> <li>・対象2科目について知識の整理、出題予想項目の検討、テスト問題施行などを行う</li> </ul>						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度) 10点      出席点 20点      定期テスト 70点      (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
受験ワークブック、国試ナビ(中央法規出版)、その他を予定						
《授業外における学習方法》						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自目標を立て、それをクリアする</li> <li>・配布する参考資料をしっかりと理解する</li> </ul>						
《履修に当たっての留意点》						
各自の勉強の実力、進行状態に合わせて柔軟に対応する						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	対象科目の確認、使用教材の決定、到達目標を明確にすることができるようになる。	受験ワークブック	国試の出題基準と出題実績より重要項目を明確にする	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象科目:「精神疾患とその治療」、「精神保健の課題と支援」</li> <li>・授業の1～8回を精神疾患とその治療、9～15回を精神保健の課題と支援とする</li> </ul>			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脳・神経の解剖生理について説明できるようになる。	国試ナビ	使用教材を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	脳・神経の解剖生理とこころの理解に関する講義			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神症状、精神状態について説明できるようになる。	国試ナビ	使用教材を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的精神症状と精神状態に関する講義</li> <li>・参考文献を使用し、精神症状・状態像を理解しやすくする</li> </ul>			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	統合失調症について説明できるようになる。	国試ナビ	使用教材を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合失調症について重要点をまとめる</li> <li>・参考資料配布と問題集施行を実施する</li> </ul>			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	うつ病について説明できるようになる。	国試ナビ	使用教材を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うつ病についてDSM-5の基準について説明する</li> <li>・参考資料配布と問題集施行を実施する</li> </ul>			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	認知症について説明できるようになる。	国試ナビ	使用教材を事前に読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	・認知症について医学・保健・福祉・心理面での講義 ・認知症資料、問題集を準備			
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神疾患とその治療の国試過去問を解き、合格基準点をとれるようになる。	国試過去問問題集	国試過去問を事前に勉強しておくこと
	各コマにおける授業予定	国試過去問5年分を解き、解答解説、要点整理を行う			
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国試予想問題集を解き、合格基準点をとれるようになる。	国試予想問題集	国試予想問題集を事前に勉強しておくこと
	各コマにおける授業予定	国試予想問題集の解答解説、要点整理を行う			
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「精神保健の課題と支援」の出題基準の把握ができるようになる。	受験ワークブック	「精神保健の課題と支援」の出題基準と出題実績をよく読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	国試出題基準と出題実績から出題頻度の高い項目を検討する			
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ライフサイクルの精神保健について説明できるようになる。	受験ワークブック	使用教材範囲を事前に読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	ライフサイクルと精神の健康について、エリクソン説にもとずいて説明する			
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	家庭における精神保健について理解し、説明できるようになる。	受験ワークブック	使用教材を事前に読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	ひきこもり、家庭問題をもつ家族の課題と支援についての講義			
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	学校精神保健について理解し、説明できるようになる。	国試ナビ	使用教材を事前に読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	不登校、いじめなど学校精神保健についての講義			
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	勤労者の精神保健について理解し、説明できるようになる。	国試ナビ	使用教材を事前に読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	勤労者の精神保健に関する講義と問題集実施			
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	アルコール・薬物依存について理解し、説明できるようになる。	国試ナビ	使用教材を事前に読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	アルコール・薬物依存についての講義と問題集実施			
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	国試過去問、予想問題集を解き、基準点がとれるようになる。	国試過去問 国試予想問題集	国試過去問、国試予想問題集を事前に解答しておく
	各コマにおける授業予定	国試過去問、予想問題集を施行し、重点ポイントを指摘する			